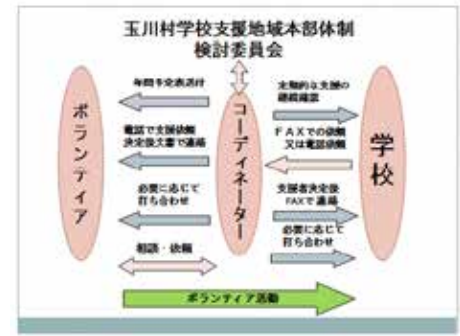


# 「次代を担う元気な玉川っ子の育成」を目指す学校応援団

福島県玉川村	● 活動名	● 関係する学校名
	玉川村学校支援地域本部	玉川村立泉中学校、玉川村立須釜中学校、玉川村立玉川第一小学校、玉川村立須釜小学校、認定こども園クックの森

開始年度	平成 23 年度	学級数	13 学級	児童・生徒数	265 人
活動内容	<input type="checkbox"/> 学習支援活動 <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 環境整備 <input type="checkbox"/> 子供の安全確保 <input type="checkbox"/> 学校行事等の支援 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
統括的な地域学校協働活動推進員の数	配置人数 0 人	地域学校協働活動推進員の数	配置人数 1 人	連携団体・企業等	
ボランティアの数	登録人数 54 人	属性	地域住民等		
参考 URL					

● 体制図



● 連絡先 玉川村教育委員会学校教育課 ☎ 0247-57-4633

● 活動の概要・経緯

● 22年度に立ち上げた「園・小・中連携強化推進事業」の活動を受けて、次年度本組織を立ち上げ、東日本大震災からの避難者を含めて推進することとなった。

《平成 28 年度実績》 ○活動回数 173 回 ○活動人数 延べ 224 人

【中学校】・教科指導の補助（数学科、国語科、書写指導、家庭科、調理実習、音楽科、古典楽器の補助と指導）、部活動支援（卓球）

【小学校】・学校行事支援（PTA 総会・懇談会時の児童見守り、昔語り、腹話術、手品）・環境整備（植栽剪定作業）

・教科指導の補助（校外学習の安全引率） ・国語科支援、（読み聞かせ、図書整理）

【認定こども園】・園行事支援（情操教育、夏の集い、読み聞かせ、無形文化財踊りの伝授、季節行事への協力）

## ● 活動の特徴・工夫

### 【特徴的な活動内容】

- 中学校音楽科の「古典楽器に触れ合う」では、学校公開時の演目に取り上げた学校のために、箏と三味線のボランティアを活用し組織的にメンバー（ボランティア登録者以外の方々）も集い、長期展望に渡り練習時間を確保し、発表会まで開催することができた。
- 国語科においては、書道のボランティアを活用し熟練した技の伝授をしていただくことができた。
- 小学校においては、統合前に頻繁に行われていた朝の読み聞かせ活動を統合後も活発に展開することを引き継ぐことができた。また、通学バスの利用に当たっても、登下校の安全確保のために、前年度までの組織を生かし、乗降場所での見守り隊を継続している。
- 小学校低学年では、校外学習の引率・安全確保のために男女のボランティアが役割を分担しながら支援活動に当たっている。
- 認定こども園教育活動支援では、情操教育に関わる「野の花生け花」や「フラワーアレンジメント」の他「英語に親しもう」のゲームを実施した。更に、地域に伝わる「民族無形文化財の踊り」にも挑戦することができた。また、「夏の集い」や読み聞かせ活動、図書貸出補助は、定期的に行うことができた。

### 【実施にあたっての工夫】

- ◎コーディネーターの選任
  - ・この事業の核となるのは、コーディネーターの選任である。地域の実状を把握し、活動的で明るく、教育的活動に理解があり、自ら積極的に活動が展開でき、人脈にも精通している人材でなければならない。現在、本事業も7年目を迎え、活動も目的に即してスムーズな展開になってきている。現コーディネーターには統括的な役割を担ってもらい、次のコーディネーターを確保しなければと模索しているところである。

## ● 事業を実施しての効果・成果

- 「玉川大好き」「学校大好き」「友だち大好き」「自分大好き」いきいききらきら玉川っ子の育成を目指す学校応援団として、組織された本事業は、学校と地域との連携体制を構築し、地域住民による積極的な学校支援を促進することができた。（28年度アンケートの結果は、以下の通り）
  - ・未来を担う子供たちの健やかな成長のため、地域の自然環境や歴史資産等について、学びを深めることができた。（79%）
  - ・教師の多忙化を解消するために、地域住民の専門性を生かしながら、専門的知識や技能を発揮し補助することができた。また、次年度への要望も具体化した。（66%）
  - ・地域の方々に支えられているという実感を伴って、子供たちが地域の一員として郷土を大切にしたいという感情を育てることができた。（58%）
  - ・地域の方々との交流を通じて、思いやりの心や感謝の気持ちを育むことができた。（46%）

## ● その他

数学科を苦手とする保健室登校の生徒に対して、不定期ではあるが、個別指導の場を設けてきた。年間10時間程度だったが教室復帰ができた。



フラワーアレンジメント



箏の学習サポート

ポイント

地域の人々との関わりによって、子供たちが地域に見守られている安心感を得られ、健やかな育ちにつながっていることが良く分かります。